

# 韓国非正規労働センター

# 地域非正規センター(民間+予算)役割モデル

1. 相談センター :労働 など
2. 教育センター :労働者 / 若者 / 市民
3. 政策センター :基礎実態調査
4. 福祉センター
5. 組織化支援センター
6. 闘争支援センター
7. 地域連携センター

1+2+3+5 を基本としながら、地域の事情に合わせて役割を補強

# 地域非正規センター事業の成果事例

1. 労働相談及び相談を通じた組織化
2. 公共部門に対する各種実態調査
3. 大学非正規職労働者の戦略組織化事業を支援
4. 労働法など労働者・市民を対象としたさまざまな講座
5. 青少年に向けた労働教育
6. 労働大学
7. マンションの清掃労働者の労働を尊重するキャンペーン
8. 長期闘争事業所の労働人権報告書
9. 非正規(労働者の)文化祭

# 2つのセンターの役割



## 韓国非正規 労働センター

- 仕事委員会：労働側の代表
- 最低賃金委員会：非正規代表
- 公共部門・民間部門における正規職化事例を実践的に展開

## ソウル 労働権益センター

- ソウル市労働政策実践の試金石であると同時にあしかかり：ソウル効果
- 未組織脆弱層労働者の権益の保護と救済
- 自治区労働福祉センターのHub

## 両センター

- 韓国非正規職労働団体ネットワーク(民間+支援団体)主導
- ソウル労働人権福祉ネットワークの基盤
- 実質的な非正規労働問題の改善と解決の先頭に